

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学 科
世界史探究	選択	3	2	普通科

科目の概要	「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を探究する科目である。			
教材名	教科書	詳説世界史(山川出版)		
	副教材	グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社) 世界史要点ノート(応用編)(啓隆社)		
担当者	中川 章弘			
学習到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の 有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			
学習方法	①講義を通して基本的な知識を獲得する。 ②要点ノートなどを通して自分で資料の読み取りや問題設定をおこなう。 ③自主的な添削を行い受験に向けた実力を養成する。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価 方法	・ 定期考査 ・ 単元テスト	・ 定期考査 ・ 要点ノート	・ 課題やノートの提出状況 ・ 自主的な添削 ・ 授業に対する姿勢
	A	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について基本的な知識を十分に理解できている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について複数の根拠を基に判断・表現できている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について粘り強く自らの答えを出そうとしている。さらに学習改善を行っている。
	B	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について基本的な知識を理解できている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について一つの根拠を基に判断・表現できている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について自らの答えを出そうとしている。
	C	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について基本的な知識を理解できていない。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について根拠に基づく判断・表現ができていない。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について自らの答えを出そうとしていない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	第1章 文明の成立と古代文明の特質	文明の誕生と古代オリエント、南アジア、中国、南北アメリカの古代文明についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	10	単元テスト ノート点検
5	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	10世紀までの中央ユーラシアと東アジア世界についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	11	
6	第3章 南アジアと東南アジア世界の展開	古代インド、東南アジアの古代文明についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	7	
7	第4章 西アジアと地中海周辺国家形成	8世紀までのイランと古代ギリシア・ローマ文明についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	11	単元テスト 定期考査 ノート点検
8	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	イスラームの成立および中世ヨーロッパの成立・発展についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	6	
9	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	イスラームの発展についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	6	
10	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	中世ヨーロッパ世界の変容と文化の特徴についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	11	単元テスト 定期考査 ノート点検
11	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	10世紀の東アジアおよびモンゴル帝国の発展についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	6	
12	第9章 大交易・大交流の時代	明代の東アジアおよび大航海時代のヨーロッパの交易や交流についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	6	
1	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	オスマン帝国・サファヴィー朝・ムガル帝国・清の発展についてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	14	単元テスト 定期考査 ノート点検
2	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	ルネサンス・宗教改革・絶対主義時代のヨーロッパについてその特徴を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。	11	
3				